

王滝村

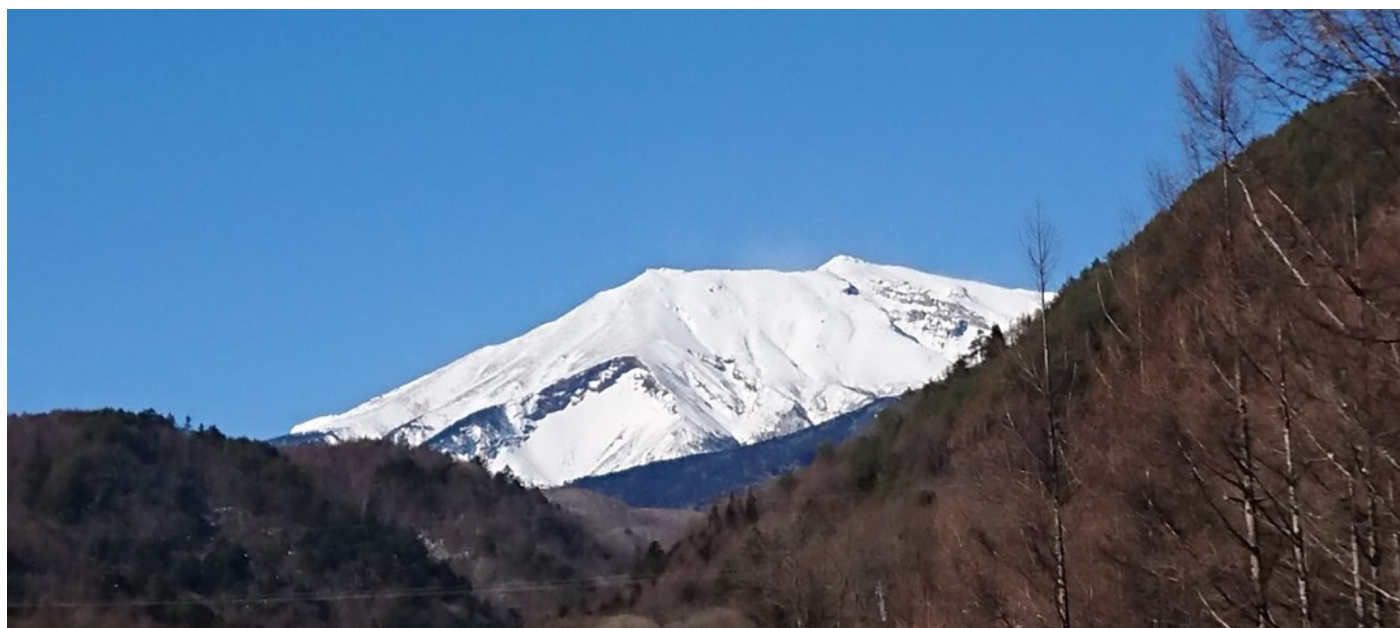
議会だより



謹賀新年



議長年頭あいさつ	2P	～	2P
一般質問	4P	～	5P
木曾広域連合議会報告他	7P	～	8P



議長年頭のあいさつ

清々しい令和4年の新春を迎え、村民の皆様方、新年あけまして、おめでとうございます。

また、日頃より、私たち議会運営に対しましても絶大なるご理解、ご協力、お力添いを賜り、心より厚くお礼申し上げます。昨年は、悲喜こもごもの1年の中政治、経済に至る様々な事件、事故、災害が発生し特に、新型コロナウイルス感染症から、オミクロン株も確認された年でもありました。このコロナ禍災害により、社会、経済、生命、生活面だけではなく、人々の移動、人の流れや意識にまで影響が及びましたが、政府一丸となって対策強化に乗りだし、終息傾向が見られ接種も2回目から3回目と進められております。昨年を教訓に、一人ひとりが水際対策に心がけて行くことが大切な事と思います。また、長雨など影響により、自然災害の年でもありました。特に、併用林道（村道38号線）が3年前と同じ箇所河川敷陥没などにより、滝越住民が今も村の中心部で避難生活を送っております。一日でも早く元の生活が実現できるよう、援助を行いながら村と議会で県に対して強く働き掛けを行って参ります。

一方で、昨年は衆議院選挙が行われ菅政権から、岸田政権へと移り変わり各地市町村でも住民の代表を決める選挙が繰り広げられました。全国的に議員なり手不足がささやかれる中、村も例外ではありませんでした。結果は2期連続無投票となりましたが、新人議員も加わり、新生議会構造の中スタートいたしました。

今年は、御嶽山への規制緩和の目処も立ち、併せて御嶽山の麓の田の原にビジターセンターも「山エリア」として完成する運びとなっております。また、スキー場も21・22シーズンに向け、指定先も「アンカー」から「シシ」に切り替わり御嶽スキー場へと名所も変更された上、年末にオープンいたしました。こうして観光産業も徐々に整備され、新しい年を迎えております。その反面、村の歴史、学校の伝統文化であった中学校が木曾町に編入される事となりました。これから村にとって最も大切な事は次世代の人づくりであると認識します。それには、出産、子育てする若者の定住化、若者の働く場づくりにより、加え福祉の充実、住みよい村づくりといった環境整備等含め議会の本質的役割を果たして行く事が求められます。引き続き 住民自治の原動力になり得る議会運営を『議員の資質と次元の高い』レベルアップを心がけ住民の付託に応じ得る「親しまれ、分かりやすい、そして真に必要なとする議会活動に」全議員が強い思いで頑張る参りますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。このように議会の情報を『議会だより』を通して身近な情報を解りやすく、読みやすく編集し、年4回発行して参りますのでご解読いただきますようお願い申し上げます。

結びに、ここ数年『災で始まり、災で終わった年』であったと振り返り、今年一年がコロナ禍の終息を心から願うと共に、王滝村並びに村民の皆様にとって輝かしい年であることを心から願いつつ、災害のない、平穏な年でありますよう祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

令和4年1月 王滝村議会議長 下出 謙介

12月定例会 一般会計2,226万円を追加補正

11月臨時会では王滝村ありがとうキャンペーンなど
4,623万円を追加

12月定例議会は12月14日に開会。条例の一部改正、令和3年度一般会計補正予算など議案全てを原案どおり可決し閉会した。

一般質問には、下出 謙介氏、倉橋 孝四郎氏の2氏が登壇した。

また、11月17日には臨時会を行い、条例の一部改正、人事案件、令和3年度一般会計補正予算など議案全てを原案どおり可決した。

11月臨時会

〔一般会計補正予算〕

〈主な内容〉

- 県治山工事の加算に伴う木曾山林協会負担金等 28万7千円（専決処分）
- 新型コロナウイルス感染症に対する冬季の経済対策事業として「王滝村ありがとうキャンペーン」継続実施に関わる事務費と優待券交付金 1400万2千円（専決処分）
- 清滝片栈橋修繕工事の舗装工追加に伴う工事費等の増加 354万円（専決処分）
- 診療所自動ドア修繕費 50万円
- 県単緊急農地防災事業（九増日陰用水）に伴う付帯工事 119万9千円
- 公営企業支出金（スキー場指定管理料2,000万円等） 2,670万4千円

経済産業常任委員会報告

12月20日に開いた経済産業常任委員会で、おんたけスキー場 前指定管理者の株式会社アンカーに対し、指定管理料2,500万円を専決処分で支出することに了承した。

経緯等は、令和4年1月4日付の役場だより号外のとおりであるが、議会としても営業開始が見通せず、仮に年末年始に営業ができなくなると関係者への影響も大きいと考え、1日でも早く営業することを最優先とした。

12月定例会

〔一般会計補正予算〕

〈主な内容〉

- 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種（3回目）費用や公共施設感染症対策経費 254万9千円
- 国の経済対策等に関わる子育て世帯への臨時特別給付金（仮称） 300万9千円
- 原油価格高騰に伴う燃料費助成金 204万7千円

〈補正予算質疑〉

問（胡桃澤） 子育て世帯臨時特別給付金（仮称）について伺いたい。今回の補正は年内に支給を予定する子供1人当たり現金5万円分の追加補正だが、残り5万円分のクーポン券を基本とした給付についても、昨日、国は現金での給付も無条件で認めるとの考えを示している。残り5万円分の給付の方法や時期について、どのように考えているか。

答（総務課長） 国からの正式な通知が届いてからはなるが、クーポン券での給付は難しいと思っている。残りの5万円についても現金での給付とし、できるだけ早い時期に支給する方向で考えている。場合によっては専決処分での給付も考えたい。

一般質問「そこが知りたい」

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

瀬戸村長の政治姿勢

下出 謙介

平成18年から令和3年まで村の政事について舵取りを4期16年にわたりご尽力されてきております。先ほど、村長あいさつでも山あり、谷にありの決して平坦な道のりでは無かったかと思われます。スキー場債務による実質公債費率（42,2%）正に村の破綻危機に直面した事。7年前には、多くの犠牲者を出した御嶽山噴火災害、その翌年には木曾町を震源とする震度5強の地震。3年前と同じ村道38号線の河川敷決壊、滝越地区住民の孤立に伴う対応。更に、地球規模にまで感染が拡大した未曾有の新型コロナウイルス。こういった、自然災害に加え、スキー場の運営にしても、運営状況と結果と諸方面の実情を考慮しながら「加森観光(株)」・「マックアース」・「アンカー」・今シーズンから「シシ」へと、その時々々の運営状況により切り替えをしてきている。村長の任期中は様々な災害に直面した施政であったと思われます。限られた予算枠の中、その厳しい状況下にあっても、常に住民に寄り添い、向き合い、住民が安心、安全に暮らせることに全神経を痛やし対応し取り組んできたことに対して、心から敬意と感謝を申し上げます。このように、様々な災害に向き合いながら、村長理念の基、対策を講じて来られたことについて質問します。

問 村長の公約に掲げた16年を振り返り、何が出来て、何が出来なかったのか、また、やり残した事についてお聞きしたい。

答(村長) 村の自立計画の中で村民からの意見、要望がまとめてありますが、その結果については、財政再建に向けた数項目は解決してきておりますが、村民からの意見、要望の多くは未だ課題とし

て残っており、出来たことより、出来なかったこと、やり残したことの方が圧倒的に多く感じています。

問 今後の村の動向、行く末を考え、通年観光を確立すべきであると強調した上。百間滝遊歩道の整備について、おんたけ高原緑化計画についても十二権現から銀河村間・助六の坊主岩までこういった幾つかの遊歩道整備について小林村政から、瀬戸村政に対して質問してきましたが、答えは検討するで終わっているが、未だ、何ひとつ解決されていない。今を振り返れば、至極残念としか言えません。スキー場を継続させる為の手段として、多額の債務償還といった特殊要因を抱える王滝村の危機的な財政運営について、その時々々の対処方法と取り組みについて。

答(村長) 平成18年から実施した歳出削減については、村づくり委員会の117項目の提言により、平成18年から平成22年の5年間、一般職最大で25%、議員報酬最大40%、特別職最大30%の各々削減を行って来た。このことにより、企業債繰上償還の財源確保が想定以上に基金残高が確保できた。このことについて、給与カットに承諾いただいた職員各位、また行政サービスの低下に伴い村民の皆様方の我慢いただいた事に今でも頭が下がる思いです。

問 度重なる災害に直面した。その思いと葛藤について

答(村長) 度重なる災害に向かい合い、再び繰り返すことなく、風化させることなく、次世代に繋ぐ重責を負って、村独自の火山防災対策に、継続実施することが重要。

問 過疎地域自立促進計画の基本理念に基づいて、取り組んで来た結果と取り残してきた課題について、また、限界集落になりつつあるこの村の村づくりに取り組んでこられてきたことについて。

答（村長） 就任当時の人口は1,067人でしたが、今月1日現在の住基人口は711人です。これから取り組みについては、第5次総合計画に掲げている村づくりを次代のリーダーに托して行きたいと思いをします。

問 次期を見据えた、この村の後継者について

答（村長） 今後の村づくりや自身の体調を考え、令和元年10月に越原副村長を任命し、次世代を托すことを含みながら、約2年半村政に携わってきたい。

王滝カブの生産維持に関して

倉橋 孝四郎

問 総合戦力5－3農業振興の具体的施策の中で、火山灰地を活かした王滝カブの生産維持による地域の魅力づくりとあるがそのことについてお伺いしたい。村の大切な伝統野菜である赤カブとすんきについてだが、村の第5次総合計画にも記載の通り、高齢化の影響を受け生産量が年々落ちている。生産者・事業者が奮闘しているが、このままだと更に生産量が減少すると思われる。生産を維持するために村はどういう考えか

答（経済産業課長） 王滝カブについてのご質問ですが、ご指摘をいただいたとおり、王滝カブは、

収穫に労力を必要とする事から高齢を理由に作付けを止める方も増えてきております。そこで村では、令和元年度から長野県の地域発元気づくり支援金事業を活用し『新規就農者の地野菜生産・加工を中核にした就農支援事業』に取り組んでいます。王滝カブ・そば・水稻栽培の各種作業の講習会の開催や、それぞれに必要な農作業機械を導入し労力の省力化、営農初心者・高齢農業者の負担軽減を図っております。近年、天候不順等もあり生産量を減らしている年もありますが、新規に作付けを始められた方もおり事業の成果が少しずつ出てきているところです。今まで充分でなかった、関係機関・団体等との懇談会を始め、考える場を設け、伝統野菜である王滝カブの生産を支える方法を関係者とともに考えて行きたいと思いをします。

王滝カブに限らず、王滝村の農業は、村の第5次総合計画に掲げられた5つの具体的施策について総合的に進めていく必要があると考えています。

（まとめ）課題感を持つての様々な取り組みは評価されて良い事だと思いますので、現場の声を聞きながら更なる取り組みをお願いします。担い手が少なくなっている中、赤カブ、すんきを加工販売している事業者、生産者である農家は村にとって貴重な存在です。新年度予算に向けて、事業者や農家の意見に耳を傾け、本質的なバックアップと体制づくりを期待します。



新しい村議会です。よろしくお願ひします

10月26日に臨時会が行われ、議長・副議長の選挙、常任委員会を含む各委員会の委員長が互選により選任された。

なお、スキー場特別委員会は議員定数等を考慮し廃止が決まった。

11月臨時会では、産業建設常任委員会の名称を「経済産業常任委員会」に改めた。

- 議長 下出 謙介
- 副議長 西村 祥夫
- 総務文教常任委員会
委員長 副委員長
胡桃澤 公司 三浦 征弘 倉橋 孝四郎 ・ 吉田 広史 ・ 西村 祥夫
- 経済産業常任委員会
委員長 副委員長
吉田 広史 胡桃澤 公司 倉橋 孝四郎 ・ 三浦 征弘 ・ 西村 祥夫
- 議会運営委員会
委員長 副委員長
西村 祥夫 胡桃澤 公司 倉橋 孝四郎 ・ 三浦 征弘 ・ 吉田 広史
- 議会だより編集委員会
委員長 副委員長
吉田 広史 倉橋 孝四郎 胡桃澤 公司

【一部事務組合議会】

- 木曾広域連合議会議員 下出 謙介 ・ 胡桃澤 公司
- 松塩筑木曾老人施設組合議員 倉橋 孝四郎

【条例等により議会で選出し、村長が任命・委嘱をする委員】

- 王滝村消防委員会 吉田 広史 ・ 胡桃澤 公司
- 王滝村保健福祉運営審議会 倉橋 孝四郎 ・ 三浦 征弘
- 王滝村保育所運営委員会 倉橋 孝四郎
- 王滝村村有林運営審議会 三浦 征弘 ・ 胡桃澤 公司 ・ 吉田 広史
- 王滝村人権教育推進協議会 下出 謙介
- 王滝村総合戦略委員会 吉田 広史 ・ 胡桃澤 公司

【その他各種団体の依頼等による選出委員等】

- 王滝村社会福祉協議会理事 下出 謙介
- 県道王滝・加子母、付知線改良促進
期成同盟会
下出 謙介 ・ 西村 祥夫 ・ 吉田 広史

【民生委員法に基づく民生・児童推薦委員】

- 民生・児童推薦委員 西村 祥夫



令和3年木曾広域連合 第4回定例会報告

木曾広域連合は令和3年第4回定例会を11月30日（火）に開会。提出議案は工事請負契約の締結2件・条例の廃止1件・令和3年度補正予算2件・同意1件で原案どおり可決し、その日に閉会した。

○木曾町・王滝村の選挙結果に伴い、議長と副議長の選挙、議席の指定、常任委員会の選任が行われ、選挙の結果、議長に南木曾町選出の山崎隆二議員、副議長に上松町選出の永井嘉男議員がそれぞれ選出された。

○行政報告

原連合長から近況の話題と各課の事業について報告。

○委員会報告

総務、福祉環境、経済観光の各委員長から調査、研究などについての報告。

○議案審議

議案第24号 工事請負契約の締結について

- ・11月15日に入札を行った木曾文化公園ホール天井等改修工事に係る工事請負契約の締結について、条例規定に基づき議会の議決を求めるもの

議案第25号 工事請負契約の締結について

- ・11月15日に入札を行った、木曾文化公園空調設備等改修工事に係る工事請負契約の締結に

ついて、条例規定に基づき議会の議決を求めるもの

議案第26号 木曾広域連合木曾クリーンセンター可燃ごみ処理施設解体基金条例の廃止について

- ・可燃ごみ処理施設解体工事業終了を受け基金の設置目的が消滅したことから当条例を廃止するもの

議案第27号 令和3年度 木曾広域連合一般会計補正予算（第3号）について

- ・歳入歳出ともに878万8千円を減額し、予算総額を45億715万6千円とするもの。主な内容は、CATV光化整備に伴う送電電気料の減額や改修工事に伴う文化公園ホール施設管理費等の減額など

議案第28号 令和3年度 木曾広域連合介護保険特別会計補正予算（第3号）について

- ・国庫支出金過年度返還金の減などに伴う歳出予算の組替で予算総額に変更はない。

同意第1号 監査委員の選任について同意を求めることについて

- ・地方自治法第196条第1項及び木曾広域連合規約第16条第2項の規定により、監査委員に選任した近藤隆氏（南木曾町）に同意した。

○全員協議会

- ・木曾広域連合規約の変更について
成年後見制度中核機関及び自立支援協議会に関する事務規定の追加

新任議員抱負

倉橋 孝四郎議員

2021年10月に議員に就任した倉橋孝四郎と申します。2014年に協力隊制度を活用し、静岡県から移住して約8年が経ちました。協力隊時代は右も左もわからなかった為、ご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、多くの方々の支えにより2018年より会社を立ち上げ今日にいたります。この8年を通じて村や村民の魅力を肌身で感じると共に、山積する村の課題と向き合うことが多く、小さくても着実な一歩を歩みだしたいと思って活動しております。とりわけ、人口減少により村の課題が浮き彫りになってきているように思うので、王滝村の特色と時代のニーズを掴み、移住者・関係人口を増やす仕組み作りが大事だと思っています。と、同時に現在住んでいる方々や事業を営んでいる方々が「この村に住んで良かった」と思えるような村を創っていく事は、人口を増やす事よりも重要だと思っていますので、老若男女幅広い世代の方々の意見を聞かせて頂きたいと思っています。

今年の抱負としては、

【1】まずは、村民の声を聴かせていただく【2】議員としての知識を深め、役割を果たす

【3】若い世代や子育て世代の声を聴きながら移住者や関係人口創出に向けて尽力する

以上3点に重点を置いて、未熟ながらも、2022年を駆け抜けて参りたいと思っていますので、みなさんどうぞよろしくお願いたします。

請願と陳情

12月定例会で審議された請願・陳情等は下記のとおりです。

- ・「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願（採択）
- ・へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願（採択）

監査委員に西村氏を選任

監査委員は、地方自治法の規定により設置及び定数が定められているが、今後、より幅広く適任者を監査委員として選任できるよう、議会から選任する監査委員については、これを選任しないことができる規定を設ける条例改正を行った。

新しい監査委員に西村 時夫氏（上条区）が議会の同意を得て選任された。

任期は令和3年12月1日から令和7年11月30日までの4年間。

《 編 集 後 記 》

これまで一時支援金、月次支援金など名称は変わってきたが、感染症の影響を受けた中小事業者等の事業の継続・回復を目的に給付金の支給が行われてきた。今度は事業復活支援金として、来年3月までの事業の見通しが立てられるよう事業規模に応じた給付金が支給される。村としても今回のスキー場オープン延期やその風評被害によるキャンセル等も踏まえ、独自の支援策を検討している。目的は同じ事業の継続・回復である。手遅れにならないよう、その時期についても、大切に考えてほしい。（公）

議会日誌

【9月】

- 9日 村議会9月定例会（1日目）
- 14日 王滝村総合防災訓練・長野県西部地震追悼式（松越地区）
- 16日 第3回スキー場特別委員会・第8回議会運営委員会
- 24日 長野県町村議会議長会長来村（災害見舞金贈呈）
- 27日 御嶽山噴火災害犠牲者献花式（松原スポーツ公園）
- 29日 例月出納検査（8月分）
- 30日 第7回全員協議会・村議会9月定例会（2日目）・第4回議会だより編集委員会

【10月】

- 5日 村議会議員一般選挙告示日
- 7日 長野県町村議会議長会役員会（川上村）
- 10日 村議会議員一般選挙
- 11日 村議会議員一般選挙当選証書付与式
- 14日 木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会（大桑村）・議員懇親会
- 15日 議会だより発行（154号）
- 17日 霊神社慰霊大祭
- 20日 議員懇談会
- 26日 10月臨時議会（初議会）・第8回全員協議会・第9回議会運営委員会
- 28日 例月出納検査（9月分）・議員懇談会
- 30日 公民館まつり（～31日）

【11月】

- 10日 愛知用水土地改良区理事会表敬訪問
- 17日 11月臨時議会・第9回全員協議会・第10回議会運営委員会
- 18日 広域連合議会 議会運営委員会・総務常任委員会（木曾町）
- 19日 県への要望運動及び知事との懇談会（長野市）
- 25日 長野県町村議会議長会県選出国會議員への要望活動（東京都）・県知事及び県議会等への要望活動（web）
- 26日 例月出納検査（10月分）
- 29日 木曾郡町村議会議長会（木曾町）
- 30日 広域連合議会11月定例会（木曾町）

【12月】

- 3日 長野県町村議会議長会役員会（長野市）
- 9日 第10回全員協議会・第11回議会運営委員会
- 10日 御嶽スキー場安全祈願祭・行政懇談会（木曾町）
- 14日 村議会12月定例会

発行／王滝村議会

編集／議会だより編集特別委員会

長野県木曾郡王滝村3623／☎0264-48-2001

